

令和8年度福島大学入学者選抜方法の見直しに関する予告について【第2報】

令和7年3月21日
国立大学法人福島大学

本学では、令和6年3月13日に「令和8年度福島大学入学者選抜方法の見直しに関する予告について【第1報】」を公表し、その後、令和6年3月27日および4月22日に改訂を行いました。

今回、令和6年度中に公表するとしていたペーパーインタビューの詳細と、それ以降に決定した事項を含めたものを、【第2報】として公表します。(※第1報からの変更箇所は、青字表記)

なお、今回公表する内容は現時点のものであり、諸事情によって一部変更となる可能性がありますので、詳細については、「令和8年度入学者選抜要項(令和7年7月公表予定)」および各学生募集要項で必ず確認してください。

また、令和7年度福島大学入学者選抜において実施した個別学力検査等での旧教育課程履修者等(平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学んだ者以外の者)に対する経過措置については、令和8年度以降の福島大学入学者選抜では実施いたしません。

1 一般選抜における主体性等の評価について

本学のすべての学類の一般選抜(前期日程および後期日程)において、調査書を活用して主体性等を評価します。調査書は、高大接続および学力の3要素評価の観点から、総合判定時の資料として活用します。

2 食農学類一般選抜前期日程個別学力検査等の変更について

(1) 大学入学共通テストの利用教科・科目、配点等

①食農学類が指定する大学入学共通テストの教科・科目の配点等については、別表を参照してください。

(2) 個別学力検査等について

①個別学力検査等の学力検査(理科・数学・英語から2科目選択)を廃止し、ペーパーインタビュー(注)を導入します。

②大学入学共通テスト、個別学力検査等の学力検査(ペーパーインタビュー)の配点は、以下のとおりです。

	学力検査						ペーパー インタビュー	小計	総点
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	情報			
共通テスト	200	100	200	200	200	100		1,000	1,200
個別学力検査等							200	200	

(注) ペーパーインタビューは、本学類が求める能力を多面的・総合的に評価するために、紙面に記載された質問を読んで回答を記述する筆記型の試験です。詳細については、[3～6頁を参照してください](#)。

【一般選抜】食農学類

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地歴、 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	ペーパー インタビュー	配 点 合 計		
食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	前期日程 60人	国	「国語」	その他	ペーパーインタビュー	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000		
		地歴、公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合／歴史総合／公共」、 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」 から1 *「地理総合／歴史総合／公共」は、地理総合、歴史総合および公共の 3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答してください。												200	200
		数	数学①「数学Ⅰ、数学A」および 数学②「数学Ⅱ、数学B、数学C」													
	理	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」、 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」 から2 *「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は、物理基礎、化学基 礎、生物基礎および地学基礎の4つを出題範囲とし、そのうち2つを選択 解答してください。	その他	ペーパーインタビュー	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000			
	外	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」 から1												100	100	
	情	「情報Ⅰ」 〔6教科8科目〕														
	後期日程 20人					共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000		
				個別学力検査等							100	100				
				計									1100			

- 【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄
- 前期日程・後期日程について

① 「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。(2科目選択する場合は、右図の中から選択してください。×印の選択はできません。)

② 「理科」については、「基礎を付した出題範囲」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む出題範囲と科目を選択することはできません。

③ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります)。

④ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和8年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
- 【個別学力検査等】欄

○ 前期日程・後期日程について

① ペーパーインタビューは、本学類が求める能力を多面的・総合的に評価するために、紙面に記載された質問を読んで回答を記述する筆記型の試験です。
- 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

○前期日程・後期日程について

① 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。

「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
- 別表

大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、下表の「○」で示す組合せから選択してください。「×」で示す組合せから選択することはできません。

	「地理総・ 地理探」	「歴総・ 日探」	「歴総・ 世探」	「地理総・歴総・公」			「公・倫」	「公・政経」
				地理総 及び 歴総	地理総 及び 公	歴総 及び 公		
「地理総・地理探」		○	○	×	×	○	○	○
「歴総・日探」	○		○	×	○	×	○	○
「歴総・世探」	○	○		×	○	×	○	○
「地理総・ 歴総・公」	地理総 及び 歴総	×	×				○	○
	地理総 及び 公	×	○				×	×
	歴総 及び 公	○	×				×	×
「公・倫」	○	○	○	○	×	×		×
「公・政経」	○	○	○	○	×	×	×	
- 2 -

ペーパーインタビューの導入について

福島大学農学群食農学類では、予告通り「一般選抜（前期日程）」においても令和8年度からペーパーインタビューを導入します。これにより本学類の一般選抜試験は、前期および後期ともにペーパーインタビューとなります。ペーパーインタビューは、面接による試験ではなく、紙面に記載された質問を読んで回答を記述する筆記型の試験です。質問の内容は、主体性・多様性・協働性を多面的・総合的に評価するため、志望理由や大学入学後の学修への意欲等を問う字数制限付の記述試験を行います。また、文章や図表を読みとって説明する力や、提示された英語から学びに対する意欲と主体性を問います。ペーパーインタビューを導入した目的は、多様な入学者選抜方法を取り入れて、受験生の能力・適性や学習に対する態度など、多角的・総合的に人物を評価することにあります。新しい入学者選抜方法の実施に先だち、受験生の皆さんの参考になるよう、サンプル問題を一例として公開いたします。なお、ペーパーインタビューの試験時間等の実施の詳細につきましては、令和8年度一般選抜学生募集要項をご参照ください。

（例題は4～6頁に掲載）

【ペーパーインタビュー例題】

例題 A. 食農学類に入学したい理由を 400 字以内で書きなさい。

例題 B. 入学後に何を学びたいか。400 字以内で書きなさい。

例題 C. 次の表は日本の 2020 年までの人口推移と、それらを基に推計された将来推計人口推移を表したものである。以下の(a)～(f)について、表から読み取れることとして正しいければ「T」、正しいといえないものは「F」と答えなさい。ただし、図表に掲載されている年以外の人口（例えば、2023 年の人口）は無視し、図表に掲載されている 5 年おきの人口推移のみをもとに正誤を判断すること。

表 日本の人口推移（1970～2020 年）と将来人口推計（2025～2070 年）（単位：万人）

	0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	総計
1970 年	2,482.3	7,156.6	733.1	10,372.0
1975 年	2,723.2	7,583.9	886.9	11,194.0
1980 年	2,752.4	7,888.4	1,065.3	11,706.0
1985 年	2,604.2	8,253.5	1,247.2	12,104.9
1990 年	2,254.4	8,614.0	1,492.8	12,361.1
1995 年	2,003.3	8,726.0	1,827.7	12,557.0
2000 年	1,850.5	8,638.0	2,204.1	12,692.6
2005 年	1,758.5	8,442.2	2,576.1	12,776.8
2010 年	1,683.9	8,173.5	2,948.4	12,805.7
2015 年	1,594.5	7,728.2	3,386.8	12,709.5
2020 年	1,503.2	7,508.8	3,602.7	12,614.6
2025 年	1,363.3	7,310.1	3,652.9	12,326.2
2030 年	1,239.7	7,075.7	3,696.2	12,011.6
2035 年	1,169.1	6,721.6	3,773.2	11,663.9
2040 年	1,141.9	6,213.3	3,928.5	11,283.7
2045 年	1,102.7	5,832.3	3,945.1	10,880.1
2050 年	1,040.6	5,540.2	3,887.8	10,468.6
2055 年	965.9	5,307.0	3,777.9	10,050.8
2060 年	893.0	5,078.1	3,643.7	9,614.8
2065 年	836.0	4,809.3	3,513.4	9,158.7
2070 年	797.5	4,535.0	3,367.1	8,699.6

注) 2020 年までの人口は総務省「国勢調査」によるもの（年齢不詳の人口を各歳別にあん分した人口）、2025 年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和 5 年推計）」（出生中位（死亡中位）推計）による。

【ペーパーインタビュー例題】

- (a) 2010 年以降, 日本の総人口は減少している。
- (b) 2025 年以降, 0~14 歳人口, 15~64 歳人口, 65 歳人口のいずれにおいても単調減少すると見込まれている。
- (c) 65 歳未満の人口の合計 (0~14 歳人口と 15~64 歳人口の和) は既に 1985 年には減少し始めている。
- (d) 2040 年には, 65 歳以上人口が総人口の 1/3 以上を占め, 15~64 歳人口が占める割合は半分以下になると見込まれている。
- (e) 2050 年の推計人口において, 0~14 歳人口は総人口の 1 割未満になると見込まれている。
- (f) 2070 年の総人口の推計値は 2020 年の総人口の 7 割未満である。

例題 D. 以下の科学論文から抜粋した文章を読んで問に答えなさい。

Harigabi is a famous village in Inner Mongolia, because a local sheep breed raised in salt-accumulated grasslands of the village displays a high twinning rate. And it is known that farmers feed halophytes, including *Reaumuria soongorica* (Pall.) Maxim., in salt-accumulated grasslands to ewes to increase the production of twins in mutton breeds in Harigabi. Therefore, it has been considered for a long time that some functional ingredients are included in the halophytes. However, the grazing management has not been analyzed in detail and factors affecting higher twinning rates in this area (for example, prolific genes and specific functional ingredients) have not yet been determined. The nutrition of forage plants is an important factor that can lead to a higher incidence of twins (Coop, 1962). The knowledge of the grazing management by using salt-accumulated land could provide useful information in other countries including tropical lands with a high level of salt-accumulating land and halophytes, because a fairly low quality of roughage has been a common problem in those lands (Kanjapaputhipong *et al.*, 2001). The influence of nutrition on lambing was reported by Marshall (1905). Supplemental feeding with a high nutrition level over several days or weeks prior to mating for multiple ovulations has been referred to as “flushing”. Clark (1934) reported an increase in the ovulation rate of mature ewes due to flushing for a period as short as approximately 3 weeks. The effect of nutrition on the ovulation rate was apparently not associated with a specific component in the feed but with an increase in energy-yielding nutrients (Teleni *et al.*, 1989; Downing and Scaramuzzi, 1991). However, nutritional characteristics of the halophytes in Harigabi have not been determined.

(石川ら 2016 年 Tropical Agriculture and Development から一部改変して引用)

【ペーパーインタビュー例題】

[用語説明]

Harigabi：内蒙古にある小さな村の名前

prolific：多産の

salt-accumulating land：塩類集積地

halophyte：塩生植物

Reaumuria soongorica (Pall.) Maxim.：塩生植物の一種（学名）

ovulation：排卵

[問]

問1．“flushing”により、どのような効果が得られるか、200字以内で答えなさい。

問2．この論文の内容から、著者がどのような仮説を立てたかを考え、200字以内で述べなさい。